

平成 28 年度（中間報告） タカタ財団助成研究論文集

■ウェアラブル NIRS を用いた自動・手動運転時のドライバの
脳活動データベースの構築と評価

..... 研究代表者 網島 均

■救急救命センターと連携する交通事故自動通報システムによる
交通弱者の被害軽減

..... 研究代表者 中山 功一

■高齢者の交通事故傷害予測モデル開発と歩行中および自転車乗車中の
傷害予測

..... 研究代表者 山本 創太

■住宅地の土地利用変化を考慮した高齢者と子育て世代の親和性を高める
持続的安全交通施策に関する研究

..... 研究代表者 鈴木 美緒